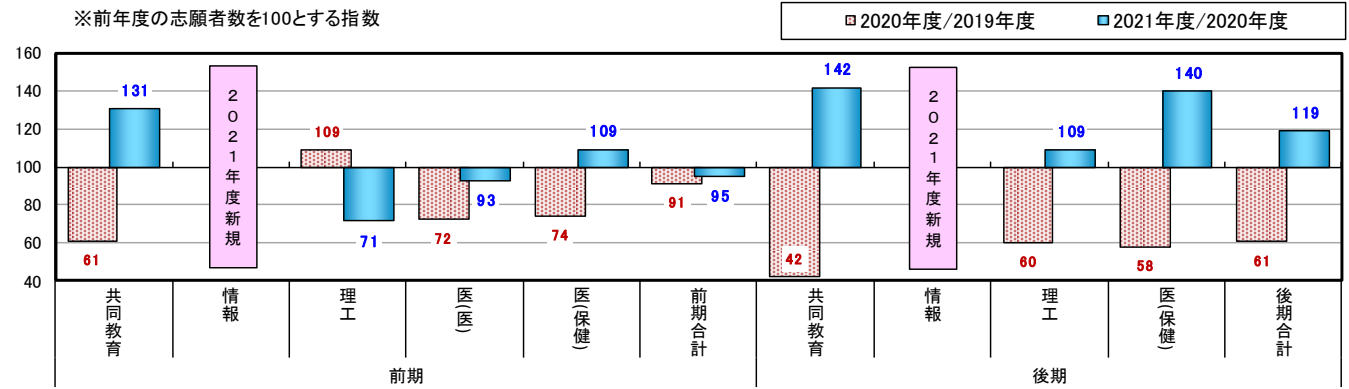


2021年度入試状況分析【国公立大】

群馬大：前期は6年連続減少、後期は大幅増加

前期：-69人 後期：+186人



入試変更点	<p>学部改組：社会情報(社会情報)、理工(電子情報理工/情報科学コース) →情報(情報/人文情報、社会共創、データサイエンス、計算機科学)</p> <p>学科改組：理工(化学・生物化学、環境創生理工、機械知能システム理工、電子情報理工/電気電子コース、総合理工)→理工(物質・環境類、電子・機械類)</p> <p>募集停止：理工(総合理工)(フレックス制)…<前>27人→0人、<後>3人→0人</p> <p>募集人員：共同教育(学校/数学)…<前>13人→11人</p>
-------	---

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は69人(95)の減少で6年連続減少、志願者数は、約1,400人にまで減少した。後期は前年度大幅減少の反動で1,166人(119)の大幅増加、2016年度以降前年度の反動による増減が継続。

- <前期日程>
- 情報は、今年度から社会情報と理工(電子情報理工/情報科学コース)をもとに改組して設置。志願者数は208人で、志願倍率は8.7倍。前年度の社会情報の志願倍率14.6倍よりダウン。
 - 共同教育(131)は、前年度改組されて募集人員の減少(募集人員の前年度対比指数87)により大幅減少だった反動で大幅増加。専攻別では、13専攻中8専攻で増加。特に、(学校教育/自然科学系-技術)(300)は前年度60%以下の激減の反動で3倍増。(学校教育/芸術・生活・健康系-保健体育)(263)、(学校教育/教育人間科学系-教育)(230)は前年度大幅減少の反動で2倍以上の激増。一方で、前年度に旧教育(学校教育/障害児)から改組された(学校教育/教育人間科学系-特別支援教育)(76)は大幅減少で、改組前から3年連続減少。(学校教育/芸術・生活・健康系-音楽)(78)は大幅減少で3年連続減少。
 - 理工(71)は、今年度5学科から2類に改組。前年度との単純比較では大幅減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数86)も減少なので、競争の緩和は小さく、志願倍率は2.2倍→1.8倍のダウンに留まった。類別の志願倍率は、(電子・機械類)は2.2倍、(物質・環境類)は1.5倍。
 - 医(医)(93)は、やや減少で2年連続減少。志願倍率も2.8倍→2.6倍にダウン。募集単位別では、(一般枠)(97)はやや減少、(地域医療枠)(73)は大幅減少。
 - 医(保健)(109)は、前年度大幅減少の反動で増加。専攻別では、(保健/検査技術)(158)は2年連続大幅減少の反動で60%近い大幅増加。(保健/理学療法)(59)は前年度大幅増加の反動で40%以上の大幅減少。(保健/検査技術)(108)は前年度激減の反動は小さく、志願倍率は1.5倍→1.6倍と前年度並。

- <後期日程>
- 情報は、今年度から社会情報と理工(電子情報理工/情報科学コース)をもとに改組して設置。志願者数は287人で、志願倍率は3.0倍。前年度の社会情報の志願倍率4.2倍よりダウン。配点別では、募集人員はいずれも12人と同じだが、A配点(小論文重視型)が10.5倍、B配点(共通テスト重視型)が6.8倍とA配点の競争が厳しかった。
 - 共同教育(142)は、前年度改組されて募集人員の大幅減少(募集人員の前年度対比指数61)により半減以下だった反動で大幅増加。特に、(学校教育/自然科学系-技術)(231)は前年度半減以下の大幅減少の反動で倍増以上の増加。
 - 理工(109)は、今年度5学科から2類に改組。前年度大幅減少の反動で増加。類別の志願倍率は、(電子・機械類)は10.1倍、(物質・環境類)は5.0倍。
 - 医(保健)(140)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、(看護)(101)は前年度並で、他の3専攻はいずれも激増。